

(天位)

◇玫瑰やひねもす風の鎮魂歌 札幌市 藤林 正則

・弁天歴史公園通りに句碑を建立

(地位)

◇はまなすのイランカラプテ日本海 帯広市 柳瀬 宗央

◇はまなすや空襲ありし日の砂丘 札幌市 猪俣 総恵

◇灯台の屋は華燭の実玫瑰 余市町 横村 楓葉

◇はまなすや足腰強き岬の子 札幌市 星 徳男

◇流木が語り部となる夏の海 雨竜町 有田 茉莉

(人位)

◇終戦日鎌もて捧げ銃したり 岩見沢市 石井 国夫

◇玫瑰や潮風のせて在来線 広尾町 伊藤 貞子

◇玫瑰や新造船の餅をまく 根室市 坂東 敏和

◇さざ波はやさしき音よ実はまなす 小樽市 村上 千代

◇ハマナスの黙解きほぐす日の句 札幌市 氣田 和子

◇積丹の海へはまなす発光す 洞爺湖町 矢野 知子

◇車椅子押してはまなす見にゆかむ 石狩市 植木 郁子

◇玫瑰の教卓飾る一枝かな 石狩市 日下 久夫

◇はまなすの香り残して海昏る 小樽市 大場 ちさ

◇いしかりの浜の光陰実はまなす 千歳市 大場 榮朗

◇そのむかし石狩渡船場行々子 札幌市 川崎 京子 (崎は旧字体)

◇仲良しへ玫瑰ゆれる通学路 石狩市 遠山 キヨ

◇人住まぬ家に玫瑰咲にけり 石狩市 赤繁 忠弘

◇玫瑰や沖に夢継ぐ父子船 蘭越町 石坂 寿鳳

◇捨舟に這ふはまなすの返り花 札幌市 加藤 弘美

(佳作)

◇遠雷や遺跡は風の棲むところ 新得町 中島 土方

◇はまなすの絵手紙を描き旅つづく 東京都 野村 信廣

◇玫瑰や最果といふ海の色 寿都町 原田 た江子

◇玫瑰や夕日をとどむ沖の海 釧路市 高杉 杜詩花

◇母さんの背中狙ひし草矢かな 札幌市 石塚 危行

◇玫瑰の夕日滴る日本海 音更町 佐藤 吟秋

◇兩岸にハマナス咲いて渡し舟 石狩市 小玉 富士子

◇はまなすや風に遊ばれ番屋跡 羽幌町 小野 天翼

◇玫瑰やハングル文字の青き壘 札幌市 伊藤 哲

◇タラップを下りて玫瑰咲く港 せたな町 笹森 君子

◇玫瑰を見てゐる母を見てをりぬ 静岡県 二藤 覚

◇玫瑰の風を抱きしむ無辜の像 札幌市 柴田 襄子

◇玫瑰や砂丘の起伏越へて海 小樽市 伊藤 玉枝

◇玫瑰の風通り行く無人駅 札幌市 深澤 雅子

◇夕焼雲ひきて漁船の帰心かな 札幌市 吉野 早苗

◇玫瑰や刺に潮風絡みつく 浜頓別町 中場 源二

◇玫瑰や番屋に籠る波の音 松前町 川内谷 弘美

◇実玫瑰挿して夜長をリスト聴く 石狩市 山根 利子

◇父の背に眠りて帰る祭髪 岩内町 松本 きよし

◇玫瑰や埋もれし船へ駈けゆく子 釧路市 鈴木 淳介

【選者】

小西 龍馬 氏 (北海道俳句協会顧問)

横山 いさを 氏 (縦俳句会代表)